

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成30年2月号 No.129

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成30年新年名刺交換会開催

平成30年1月5日(金)午後5時から名古屋市西区のウェスティンナゴヤキャッスル「青雲の間」において、日本合板商業組合中部日本支部、名古屋建材商社会、名古屋木材組合、中日本合板工業組合の木材、建材関係4団体共催により新年名刺交換会が来賓、組合関係者等480名余が参加して盛大に開催された。

最初に主催者挨拶で名古屋木材組合 西垣洋一組合長は「米国、中国の景気が好調で、日本が材を確保していくことが難しくなっている。資材の高騰の流れには、われわれが力を合わせて対処していこう」と業界の団結を呼びかけた。

さらに「昨年の秋口から需給バランスが崩れ始めているようで、今後の需要動向に注目している。ただ新設住宅は減っても3階建て住宅や非住宅、あるいは既存住宅の流通などの需要は増える。自らが『顧客の創造』を図り、生産性を上げることで働き方改革にも対応し、経営の安定につなげよう」と挨拶した。

つづいて、主催者挨拶として名古屋建材商社会 角柄明彦SMB建材㈱代表取締役社長から「今年は明治維新から150年。この間、日本は大きな変化を遂げたが、現在の社会もIT技術などの発展で大きく変わろうとしている。

建材も用途が拡大し、住宅・非住宅で需要は増える。特に名古屋では名古屋城天守の木造再建や、リニア中央新幹線など大きな事業を控えている。犬笑う年でなく、皆が笑える年にしたい」と述べた。

引き続き、中日本合板工業組合 内藤和行理事長が乾杯の音頭を行い祝宴に移った。会場では新年の挨拶と今年も頑張っていくという意気に溢れ盛況であった。

最後に中締めとして、日本合板商業組合中日本支部 熊谷昌久支部長が業界のますますの発展と参加者の皆様の健勝を祈念して三本締めで会を終了した。

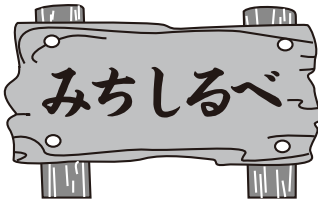


西垣洋一 組合長



角柄明彦 SMB建材㈱代表取締役社長

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



江戸 その4 —ポスト東京—

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

1945年、日本は太平洋戦争に敗れ、明治以来拡大・保有してきた朝鮮半島・満州・中国大陸の一部等の領土を失った。否それ以上に、樺太をはじめとする北方領土も奪われたのである。これは明治元年(1868年)から数えて77年後であるが、この77年間の大日本帝国の富国強兵政策に対する国民の大きな犠牲は、全く無駄になってしまったことになる。徳川慶喜の大政奉還がこの形で終わったのは、明治政府のスタートの誤りと思わざるを得ない。

しかしながら、この時焼け残った国土に対し、国民は大きな希望を持った。平和と未来という希望である。それは国家の大きなエネルギーとなり、そのため復興は早かった。10年後の1955年の経済白書では、有名な言葉「もはや戦後ではない」が謳われた。19年後の1964年には、アジアで初めてのオリンピックが東京で開催されたのである。奇跡の復興と言われた日本の経済成長であったが、その中心となったのはやはり東京であった。東京には日本のシンボルとしてすべてが集中し、東京を発展させることが日本を発展させることと同一視されるようになった。日本の経済が登りつめた1990年代には、GDPはアメリカに次いで世界2位となり、そのシンボル東京はニューヨーク・ロンドン・パリ等とともに世界の大都市のひとつとなっていた。

資本主義は自由競争を基本として成り立つ経済活動であるが、それは必然的に、弱者は強者に略奪されざるを得ず、その結果貧富の差が発生する欠点を持つ。第二次大戦後80年間は先進国が強者で発展途上国(当時の用語で後進国)が弱者となる南北問題が国際的なテーマとなっていたが、東西の壁が破れ、全世界で人・モノ・金の流れが自由化された今日では世界経済が同一市場化・均一化され、富が特定の層に集中することにより、貧富の格差は同一国内でも発生・拡大するようになった。東京はそのひとつであり、富める東京を支えるため貧しい東北が生まれ、東京におんぶしなければ生きていけない東北という構図が形成されてしまった。そしてその東京も、今では完全に行き詰まっている。今日の行き詰まりを打開するというより、少しでも東京の景気を維持するため再度のオリンピックが誘致されるが、2020年以降の東京の青写真は全く見通されることなく、ただ空しくデフレ克服・景気拡大が唱えられるだけである。

1603年、江戸に幕府が開かれてから415年経つが、徳川家康が今政治を執ったとしたら、どんな国づくり・江戸づくり(東京づくり)をするのだろうか。少なくとも、生産が消費を上回るといった、江戸時代では考えられなかった恩恵を最大限に生かした平和国家づくりにまい進するであろう。或いは、とうに限界を超えた東京を捨てて、もっと希望の持てる、あまり資本主義に毒されていない地域に遷都するかもしれない。平和・安全といった私たちの希望とは逆の方向に日本の未来は動こうとしている現状において、平成(ではなく次の元号)の徳川家康の到来を期待するのは私ひとりであろうか？

恭子のワーキングライフ

“ アドバイス ”

フリーランスのジャーナリストとして各種メディアでご活躍の池上彰氏が「これから社会へ出る若者たちへのヒントになれば・・・」と日本経済新聞に掲載された記事に目が止まりました。新年早々購読された方々もいらっしやと思います。この場をお借りして新聞紙面の一部をご紹介します。

新聞の見出しは「若者たちへ」と書かれ、池上彰氏の生い立ちや人生で一番大きく考え方が変わった還暦の頃の率直な感想などが対談形式で掲載されていました。特に「初心を忘れず本業の仕事を頑張り続けたことで、いまにつながる基礎を築けた」「専門の仕事とは全く異なる体験を積むこともあるが・・・それが大事な時間であった」と自らの職場体験から得たメッセージが綴られていました。

池上彰氏のメッセージを読んで、学生の若者たちに限らず一般社会人の私たちが働きながらやりたいことを実現するヒントになると感じました。そして仕事に対する姿勢の見直し、自分に足りない知識や技能を身につけ補っていく発想の転換が仕事の基礎になることが伝わりました。

私は組織の一員として自分の立場や目標を意識する機会になり、これからの人脈づくりにつながるアドバイスを教えられたように思います。

社会へ出るきみたちへの アドバイス

「読書」は、人生や仕事について
考えるヒントを与えてくれる

「伝える力」を磨くには、繰り返し学び、
情報を整理する工夫を大切に

「情報収集力」を高めるには、人に会い、
自ら発掘する努力も忘れないように

(日本経済新聞 2018年1月8日付 記事抜粋)

◆ 合縁木縁 ◆

「心と心遣い、思いと思いやり」

早いもので年が明け一月がたちました。まだまだ寒さ厳しい日が続いております。そんな中、朝起きるのが苦手な私は苦勞しています。

旧年中は、私たち輸入木材業界に携わる者にとっては厳しい一年となりました。

今年こそは、明るい一年となる様願っております。

さて、話は変わりますが、昨年11月にとある集いがあり、その中の講演に興味深い内容がありましたので、そのお話を少しご紹介させていただきます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際に「公共広告機構」のCMが頻繁に流れていました。内容は、主人公の乗っているバスに妊婦さんが乗車してきたので席を譲ろうとしましたが勇気がなく譲ることが出来なかったのです。後日、老人の方が重い荷物を持っている場面に遭遇、勇気を出して声をかけお手伝いをしたという内容でした。このCMの意味は「心」は相手に見えないが「心遣い」は相手に見え、「思い」は相手に伝わりにくい、「思いやり」は相手に伝わる」ということです。

そしてもう一つ、ある老人が毎朝新聞配達をしている中学生に「おはようございます」と挨拶をすると、その中学生はいつも返事をせず、会釈をするだけでした。老人は少し礼儀に厳しい方でしたので新聞屋の社長にこの話をしましたが、社長から実はその中学生は耳が聞こえない事を知らされたのです。老人は次の日に紙に大きく「おはようございます。いつもご苦勞様です。」と書いて立っていました。それを見た中学生は涙を流して何度も何度もお辞儀をしていったそうです。

心で思う事は重要です。しかし、全ての方にその心が伝わるわけではありません。また、思いも重要な事ですが、思いやりとなって初めて相手に伝わるものだと思います。

今年一年、私も心遣いと思いやりを心に刻み実際に行動し人と人とのつながりを大切にして一年を過ごしていきたいと思います。

今回は、王子木材緑化(株) 橋本和弥氏にお願いいたします。

お知らせ

☆☆☆ 飛島バス停留所に屋根の設置を！ ☆☆☆

飛島村より、名古屋港西部臨海地帯を走る飛島バスの停留所に、屋根の設置を検討する旨の連絡がありました。どのバス停に設置したらよいか企業連の意向を知りたいとのことでしたので、企業連の各グループの役員の方々に意向確認をしたところ、1月初めに各グループから次々と回答がよせられました。集約結果は、①税関南②税関前③第二桜木大橋南A、④第二桜木大橋南B⑤TCB前⑥中部電力前⑦トヨタ自動車前⑧木場団地中央信号⑨木場1丁目南に設置してほしいとのことでしたので、飛島村に回答をいたしました。

飛島村の方では、バス停の土地を管理する名古屋港管理組合、バスを運行する三重交通、先般実施した利用者アンケートなどを参考にして、早急に設置バス停を決定していく方針です。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

不審者に気を付けて！

不審な男が女性に声掛けをするという相談が蟹江警察に寄せられています。警察でもパトロール等実施していますが、個々でも対策をお願いします！

《被害に遭わないために》

- 夜間一人歩きは避け、できるだけ明るく人通りの多い道を選ぶ
- 携帯電話を掛けながら歩く等のながら歩きは禁物！
- 防犯ブザー等の防犯グッズはすぐ使えるように手に持って歩く

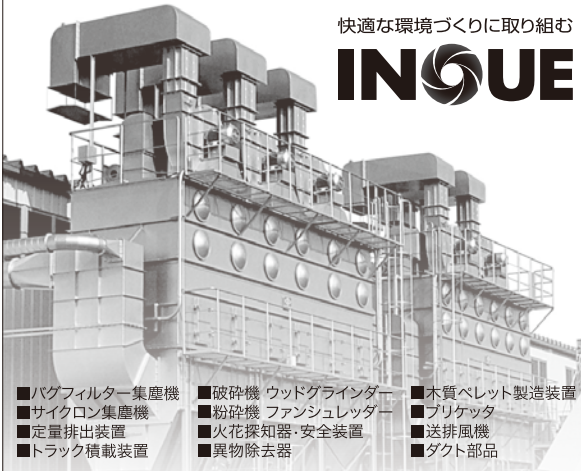
また、不審者を見かけた際には蟹江警察までご連絡、情報提供にご協力ください。

電話：0567-95-0110

◆ 広告コーナー

快適な環境づくりに取り組む

INOUE



■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグライnder	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレター	■ブリケッタ
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

井上電設株式会社 | 名古屋市中区金山4丁目3-17
 TEL (052) 322-5271
 FAX (052) 332-5273
<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail:tech@inoue-d.co.jp

新型 **GENEO** 誕生!



トヨタL&F中部株式会社

本社	TEL:052-882-6411
名港(営)	TEL:0567-55-0722
小牧(営)	TEL:0568-77-5365
高山(営)	TEL:0577-33-4020

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 嶺木昌行
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会